

報道関係者各位

山形県選挙管理委員会事務局

第50回衆議院議員総選挙に関する高校3年生アンケートの調査結果について

令和6年10月27日執行の第50回衆議院議員総選挙に関して、本県独自に高校3年生を対象としたアンケート調査を実施し、その結果を別添のとおり取りまとめましたのでお知らせします。なお、その概要は下記のとおりです。

記

1 調査対象・回答者数

山形県内の全ての高等学校（57校）の3年生、各学校1クラス程度（50人以内）にアンケートを実施し、うち39校の1,116人から回答いただいた。

2 調査結果（主なもの）

(1) 投票率の状況（問2）

選挙権があった生徒のうち投票した生徒の割合は74.0%であり、本県全体の投票率（60.82%）を上回っているが、前回衆院選のアンケートと比べて下降している。

＜前回78.9% ⇒ 今回74.0%【前回比▲4.9ポイント】＞

(2) 投票に行こうと思っていたが、実際には行かなかった理由（問7）

「用事があったから」が55.7%と最も高く、次いで「面倒だった」が8.9%となっている。

(3) 住民票異動の必要性の認識（問15）

住所の異動があった場合、法令上住民票を異動しなければならないことについて尋ねたところ、「知っていた」は67.5%、「知らなかった」は32.5%となっている。

(4) 各種投票制度の知識（問17,18）

期日前投票制度の内容を知っている生徒の割合は56.0%となり、前回衆院選のアンケートと比べて上昇している。一方で不在者投票制度の内容を知っている生徒の割合は13.1%であり、前回衆院選のアンケートと比べて下降している。

＜期日前投票制度：前回54.3% ⇒ 今回56.0%【前回比+1.7ポイント】＞

＜不在者投票制度：前回17.5% ⇒ 今回13.1%【前回比▲4.4ポイント】＞

(5) 投票行動と家族の関係（問2,9）

家族が投票する場合の生徒の投票率は85.2%、家族が投票しない場合の生徒の投票率は5.9%であり、前回衆院選のアンケートと同様に、家族の投票行動と生徒自身の投票行動に相関関係が見られる。

＜家族が投票する場合の投票率：前回87.4% ⇒ 今回85.2%【前回比▲2.2ポイント】＞

＜家族が投票しない場合の投票率：前回14.3% ⇒ 今回5.9%【前回比▲8.4ポイント】＞